

第 1191 回放送分『ACP』4 回目

ゲスト：大瀬克広ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「ACP アドバンス・ケア・プランニング」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 大瀬克広（おおせ かつひろ）ドクターです。大瀬さん、最終週もよろしくお願いいたします。

大瀬克広 Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

アドバンス・ケア・プランニング、その頭文字をとって ACP。

また人生会議とも呼ばれるということですが、

先週までは、自分がどのような医療を受けたいのか、その意思を誰かに伝えておくことが大切というお話でした。

ひと昔前と違って、いまは市販でもエンディングノートなどが販売されており、自分の意思を表示しやすい時代になったという印象があります。

大瀬克広 Dr.

そうですね。鹿児島の各自治体でもエンディングノートを作成して配布しています。

エンディングノートというと、どうしても万が一のことに意識が向いているのでためらってしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、

実は、「日常をどう生きるか」ということにもつながっていくものです。

自分らしい生き方を考えるきっかけにもなります。

二見いすず

そうなんですね。

大瀬克広 Dr.

鹿児島県医師会でも、「マイライフ・ノート」というものを作成しています。

インターネットで「鹿児島県医師会 マイライフノート」と検索して下さったら

医師会のホームページでどなたでもご覧になれますし、お使いいただくことができます。

二見いすず

せっかくなので今ちょっと検索してみますね。

「鹿児島県医師会 マイライフノート」

いろいろと書き込めるノートなんですね。

生い立ちや思い出、これからやりたいこと、

そして医療や介護についての希望、葬儀の希望、

財産について、もしもの時の連絡先、家族や友人へのメッセージなど、
普段はなかなか思いを巡らさないことも
書き込めるようになっていきますね。

大瀬克広Dr.

毎日の仕事や家事、仕事を引退したあとであっても、
日常生活はなにかと忙しいものです。
でも普通に暮らしていると、「自分にとって大切なものは何なのか」まで
なかなか考えるきっかけがないものです。
しっかりと考えることで、自分がどういう生き方をしたいかが
見えてくると思います。

二見いすず

そうですね。

大瀬克広Dr.

ご自身の人生を最後の最後まで自分らしく生きるために、
アドバンス・ケア・プランニング 人生会議というのがあるというのを
覚えておいていただけたらと思います。

二見いすず

よく分かりました。
今月は「ACP アドバンス・ケア・プランニング」について
鹿児島県医師会の大瀬克広ドクターに貴重なお話をさせていただきました。
大瀬さん、4週にわたりありがとうございました。

大瀬克広Dr.

ありがとうございました。